

# 令和3年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本モトシヨク

## 1 事業実施の成果

### ①蕎麦処三昧庵について

- ・コロナ禍で客待ち営業を自粛し、クラスター対策として連絡先を必ず把握できる予約制蕎麦屋として営業を継続した。売り上げは昨年同様の結果であった。
- ・前代未聞のコロナ禍は、通常の飲食店としての諸前提を覆して立ち向かう必要性を実感し、「蕎麦打ち教室」「三昧庵沖縄活動」を旗揚げした。
- ・三昧庵ホームページにリンクを貼った蕎麦打ち動画を見た那覇の定宿の代表から蕎麦打ち教室のオファーがあった。令和3年から那覇に三昧庵蕎麦打ち教室を不定期開設。ご当地において初の本格的蕎麦打ち教室として様々な世代から受講申し込みをいただいた。
- ・目標金額未達の原因として考えられる点は、地域の年間行事がすべて中止になり、例年来店客数が上がるもみじ祭り・桜祭りが中止になったことが打撃になった。さらに観光客の歩くメインストリートから1本奥まった場所にある事は、お客にとっては見つけにくさに繋がる。さらにネットでの情報発信に工夫をして集客力アップに努めたい。

### ②マル麦（大麦）由来の販売について

- ・現在耕作放棄地再生で「小さな6次産業」化が達成できているのは二条大麦「キラリモチ」である。豊作予想のその大麦を実際収穫してみると、昨年の半分程度の収穫量であった。自然農で3年続けた結果、地力が衰えてきているので、今期、牛糞発酵堆肥と、化学肥料を散布した。
- ・1月に電動石抜き機が届き、今までボトルネックであったハンドピッキングでの選別作業が大幅に改善された。穀物冷蔵庫に保管している元麦（ゲンバク）は、小石、雑草の種子、未成熟種子、変色した種子が思いの外、多数混入していて目視での選別&検品は相変わらずやめるわけにはいかない。
- ・足守の三昧庵の家主である杉原康子町内会長に、このエリアの販売を一任した。狙いは新規購入者として「足守もみの木保育園」に我々の無農薬もち麦を納入することであった。以前から園児の給食に使っていただいている白鳩保育園から高評価をいただいている点も紹介し、児童の腸内環境にモチ麦が如何に良いかを「足守もみの木保育園」にも理解いただき、継続購入に繋がっている。
- ・現在も、東古松の自然食品店「らんらん亭」および「白鳩保育園」さらに「うらやす白鳩保育園」には納品継続中である。

### ③大麦粉の製品化について

私の使っている10kg投入精麦機は1回目外部環境にさらされていた部分を削り取る。さらに米粒大になるまで再投入した大麦を削り込む。この2回目の粉は、篩にかけて粒度をそろえたら大麦粉として活用可能になる。農研機構に確認したところ、この大麦粉もモチ麦のもつ健康機能性に変わりはないという。

- ・大麦粉を利用したパンの開発に、邑久の「おぶすと」（人気パン屋）と協働しておこなう予定であったが、牛窓に窯を築いて店ごと移転という話の中、立ち消えになった。折を見て再度協働可能かどうかの確認をする予定である。

- ・この事業採択以前に「ミハルゴールド」（うるち性）の大麦粉を使ったお菓子のレシピは持っていた。しかし、同じレシピで「キラリモチ」（モチ性）大麦粉で試作してもモチモチした粉の特性の違いから同様の品質の焼き菓子は製造出来なかった。

- ・さらに利用可能性を探究し、この粉の品質特性を生かせる商品開発に挑戦する。

\*依然終息を見通せないコロナ禍の中、蕎麦屋という飲食業を立ち上げた。NPO法人日本モトシヨクは、食を通じて各人の健康保全に役立つ提案を行なってきた。たとえ収益性の貢献度が少なからうと、団体設立の本旨に立って、田んぼの土が作物の根をやしない、しいては我々の健康をも保全してくれるという自然の摂理に一人でも多くの人に気づいてもらえるようにコミュニケーションを取りたいと思う。

## 2. 今後の課題

### ① 蕎麦処三味庵について

- ・コロナウイルス蔓延の影響が大きく、花見シーズンにもかかわらず人出が見込めない。

さらにワクチン接種を唯一の終息の手段とする以上、集団免疫の確立までに数年は必要だと思われる。現状売り上げを維持しつつ、電動石臼機を導入し、自家栽培、自家製粉で原料のソバ粉をグレードアップし、さらにコストカットを行なう。

- ・ユーチューブ動画「三味庵流蕎麦打ち動画」の効果で、沖縄の「三味庵蕎麦打ち教室」を開講することができた。新たな収益の柱として蕎麦打ち教室の充実をめざす。

- ・「小さな6次産業」としてソバ粉作りの玄ソバ（そば殻の付いたままの種）をヌキ（そば殻をはずした状態の実）に加工する工程は、姫路の寺尾製粉に委託する。加工賃は200円/kgなので、脱皮機、選別機の導入をしなくてよい。

### ② 丸麦由来の販売について

- ・現在、ハンドピッキングで行っている選別作業は、石抜き機の購入によって非常に効率的になった。また、ソバの製粉工程にもこの石抜き機は使える。

・慣行農法の大麦栽培では、防カビ剤などの散布を行い農薬不使用のものは、ほとんどない。これからの子どもの健康を保全するために保育園等を中心に販売を進めていく。今期、足守の「もみの木保育園」に新規導入していただける事になった。

③ 大麦粉について

・世界人口が75億人に達し、気候変動で異常気象が毎年当たり前のようになっている。作物を育てにくい時代となっている。食料高騰が話題にのぼる中、今、捨てられているモノを如何にして有効に活用していくかという視点をみんなが共有していけないとSDGs「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」を達成できないと考える。

・大麦をマル麦に成形する時に出る大麦粉はそのままでも食品原料になるし、焙烙で煎ると「はったい粉」になる。現在、この大麦粉を使った食品は少ないが、チャンとした商品開発が出来れば単に我々の収益がアップする以上に、大麦生産者に朗報となる。

・四国農研機構が組織化している大麦β-グルガン利用促進協議会を通じて各会員に協働の可能性をチェックする。

耕作放棄地の所有者と利用権契約を設定し、再生に向けて大麦、ソバを栽培している点は、活動地域に徐々に浸透して確実に保有面積が広がっている。昨年、大豆ソバコンバインを導入した関係で、今年から大豆栽培にも挑戦する。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 日本素食メニューの開発とレシピ普及事業	三昧庵流十割蕎麦の打ち方を、①鉢仕事②延仕事・切仕事③釜前仕事でユーチューブ動画を公開した	実施せず				
② 癌の回復期に患者が集う群衆抗癌の施設の建設と支援事業	中山間地域の豊かな自然と環境の中、様々なストレス要因の除去が可能な場所の選定。及び、施設の確保を行う。	実施せず				
③ 上海癌回復学校への参加支援と交流事業	上海癌回復学校の訪問と、癌と向き合う中国の癌患者との交流事業	実施せず				
④ 緊急支援物資(ベジタリアン用)開発と外注生産及び備蓄と支援事業	自然災害の多発により被災した生産者さんの再起支援を含めた体制を構築し、活動目標をそれぞれの自立とする。	実施せず				

⑤無農業作物の生産及び販売支援を中心とした地域経済振興事業	高βグルガン大麦「キラリモチ」の栽培、利用事業①もち麦の製造、販売②大麦粉の利用促進③菓子の商品開発&ソバの栽培	11月播種 6月収穫、脱穀 8月草刈、ソバ播種11月収穫	玉柏圃場	延べ5名	保育施設、自然食品店を通じて約100人に提供	268
⑥命をはぐくむ免疫力・抗酸化力をキーワードにした健康講座	地産地消&蕎麦打ち体験セミナーを自主開催した。	実施せず				
⑦台湾素食商品(災害支援寄付金込み)の輸入販売事業	精進素食の先進国である台湾素食商品を輸入し、災害支援寄付金商品として販売支援。	実施せず				
⑧中山間地域を活性化させる6次産業化事業	蕎麦処三味庵を北区足守にて営業	4月～2022・3月	北区足守三味庵	2名	蔓延防止期間は休業 来店者60名/月	1020
⑨素食、中医診断体験ツアー事業	自分の体質を知るために上海、台湾で中医師の診断を受ける参加者を支援。併せて素食文化を体験する。	今期は実施せず				
⑩協業ネットワーク構築による都市部と農山漁村の連携事業	那覇の壺屋ガーデンで蕎麦打ち指導。糸満の農水苑にて子ども蕎麦打ち体験セミナーを開催。糸満の結の茶屋にて子ども蕎麦打ち体験セミナーを開催。	2月4月 農水苑1月 結の茶屋3月	壺屋ガーデン 糸満市	1名 2名 1名	那覇で30名に指導 農水苑セミナー参加親子10組20人 結の茶屋子ども10人大人5人	452

令和3年度 活動計算書  
2021年4月1日から2022年3月31日まで  
特定非営利活動法人日本モトシヨク  
(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	15,000		
2. 受取寄附金			
受取寄附金(須々木理事より大麦代金)	19,500		
3. 受取助成金等			
岡山市「未来づくり推進事業」補助金	957,000		
4. 事業収益			
蕎麦処「三味庵」売上げ	802,700		
丸麦由来売上げ	194,813		
5. その他収益			
経常収益計	1,989,013		1,989,013
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
有償ボランティア代	240,375		
(2) その他経費			
食品仕入れ費	80,547		
足守三味庵賃借料	360,000		
備品費	76,108		
消耗品費	13,914		
製粉所賃借料	240,000		
原材料費	136,124		
光熱水費	112,987		
大麦乾燥代	25,000		
航空運賃	123,300		
宿泊代	321,600		
レンタカー代	5,050		
印紙代	600		
通信費	2,780		
雑費(PCR検査費)	2,000		
その他経費計	1,740,385		
事業費計		1,740,385	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
精麦機償却費	103,464		
穀物冷蔵庫償却費	49,600		
石臼製粉篩機償却費	112,933		
その他経費計	265,997	265,997	
管理費計			
経常費用計			2,006,382
当期経常増減額			-17,369
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
経常外収益計			
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
法人市民税県民税引当金			72,000
経常外費用計			72,000
当期正味財産増減額			-89,369
前期繰越正味財産額			127,367
次期繰越正味財産額			37,998

令和3年度 貸借対照表  
2022年3月31日作成

特定非営利活動法人日本モトシヨク  
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		0
現金預金	37,998	
未収金		0
流動資産合計		37,998
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
穀物冷蔵庫	107,467	
大麦精麦機	241,416	
石臼・篩機	855,067	
有形固定資産計		1,203,950
(2) 無形固定資産		0
無形固定資産計		0
(3) 投資その他の資産		0
敷金		0
〇〇特定資産		0
投資その他の資産計		0
固定資産合計		1,241,948
資産合計		1,241,948
II 負債の部		
1. 流動負債		0
未払金		0
前受民間助成金		0
短期借入金		0
流動負債合計		0
2. 固定負債		0
長期借入金		0
退職給付引当金		0
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
222 前期繰越正味財産	127,367	
当期正味財産増減額	<del>89,369</del>	
正味財産合計		37,998
負債及び正味財産合計		1,241,948

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
 低温冷蔵庫：取得価格248,000円は耐用年数5年、償却率0.2の定額法  
 精麦機：取得価格517,320円は耐用年数5年、償却率0.2の定額法  
 石臼・篩機：取得価格968,000円は耐用年数5年、償却率0.2の定額法
- (3) 引当金の計上基準
  - ・ ○○引当金
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
 施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。  
 また計上額の算定方法は「4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。
- (5) ボランティアによる役務の提供  
 ボランティアによる役務の提供は、「5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。
- (6) 消費税等の会計処理  
 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 会計方針の変更

3. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	A事業費	B事業費	C事業費	D事業費	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費							
2. 受取寄附金							
3. 受取助成金等							
4. 事業収益							
5. その他収益							
経常収益計							
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
臨時雇賃金							
人件費計							
(2) その他経費							
業務委託費							
旅費交通費							
その他経費計							
経常費用計							
当期経常増減額							

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳  
(単位：円)

内容	金額	算定方法
三味庵有償ボランティア	240,375円	時給850円 ボランティア人数 参加時間

6. 使途等が制約された寄附金等の内訳  
使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
合計					

7. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
穀物冷蔵庫	157,067	2019年6月	49,600	107,467	140,553	107,467
大麦精麦機	344,880	2019年8月	103,464	241,416	275,904	241,416
石臼・篩機	968,000	2021年9月	112,933	855,067	112,933	855,067
無形固定資産						
投資その他の資産						
合計						

8. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
役員借入金				
合計				

9. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。  
(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金		
委託料		
活動計算書計		
(貸借対照表)		
未払金		
役員借入金		
貸借対照表計		



## 財産目録

2022年03月31日現在

特定非営利活動法人日本モトシヨク  
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金		46,182	
未収金			
流動資産合計		46,182	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
穀物冷蔵庫	107,467		
大麦精麦機	241,416		
石臼・篩機	855,067		
有形固定資産計	1,203,950	1,203,950	
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計			
(3) 投資その他の資産			
投資その他の資産計			
固定資産合計			
資産合計			1,250,132
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金			
預り金			0
流動負債合計			0
2. 固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			1,250,132

## 前事業年度の年間役員名簿

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

特定非営利活動法人日本モトシヨク

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬の有無
理事長	景山 勝己		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	報酬なし
副理事長	芝根 秀和		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	報酬なし
理事	須々木 元三郎		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	報酬なし
監事	今中 悦子		自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日	報酬なし